

人口でみる日本のすがた

～ 国勢調査等の結果から～

- 1 全国・都道府県・市区町村別結果
- 2 政府統計の総合窓口(e-Stat)の利用

1 全国・都道府県・市区町村別結果

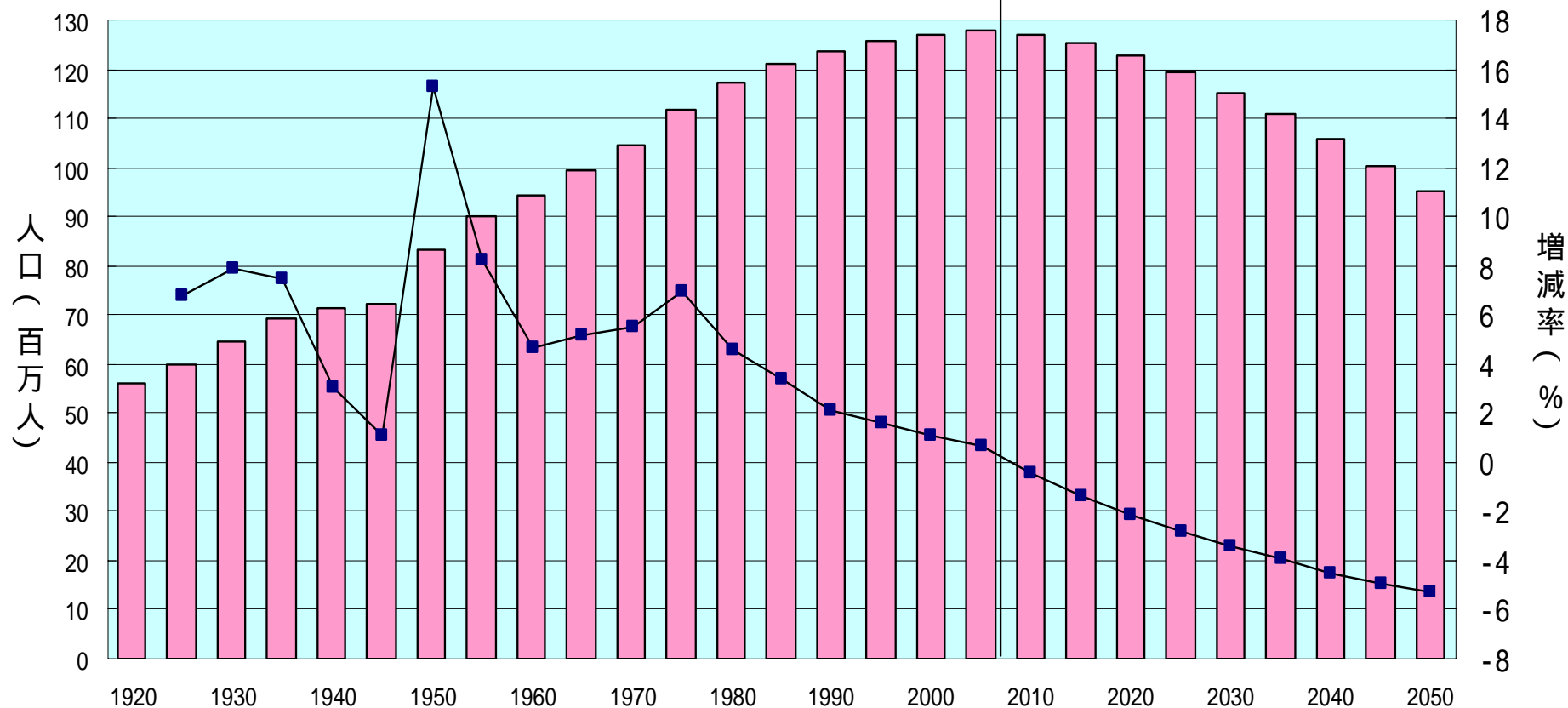
- 様々な行政の課題と対策を考える際に不可欠となる現状把握のために、国勢調査結果は高い頻度で利用
- また、一般の会社や団体などにおいても、現状把握や需要予測などのために、国勢調査結果を利用

日本の人口は1億2777万人

日本の人口及び増減率の推移 (1920年～2050年)

人口(百万人)
増減率(%)

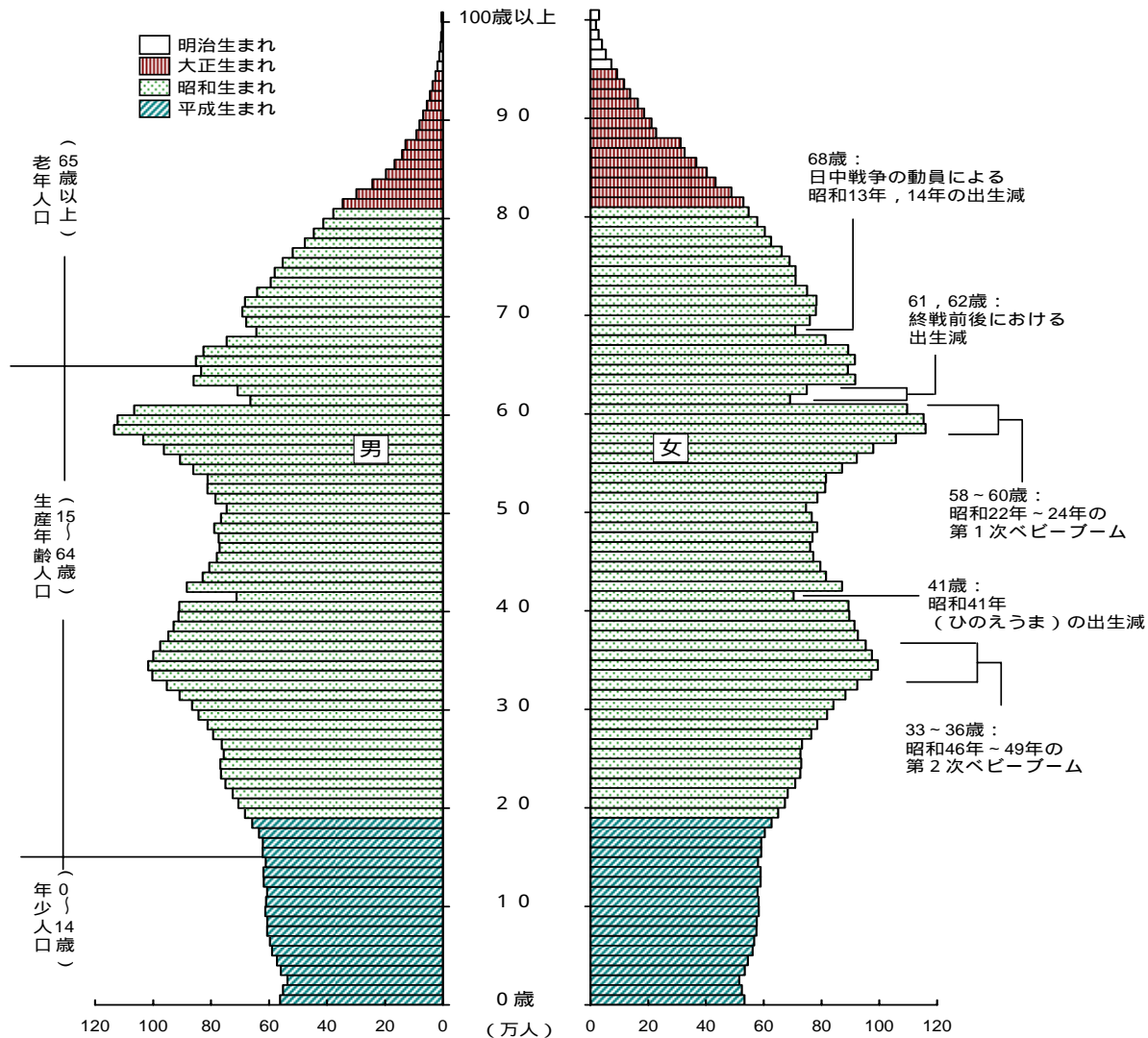
国勢調査による実績値 ← 将来推計人口



注) 将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による。

団塊ジュニアは30代半ばに

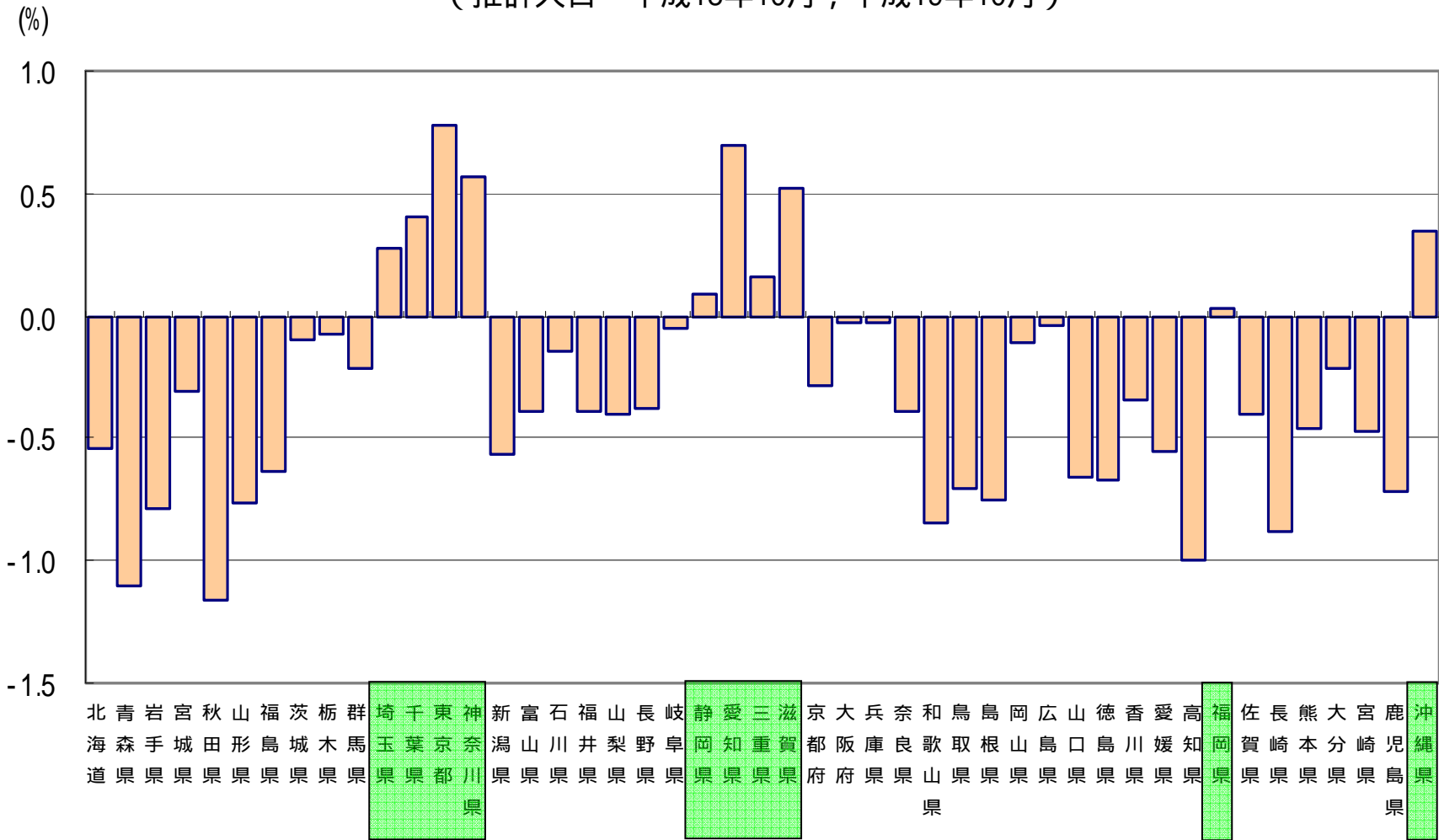
人口ピラミッド（推計人口 平成19年10月）



東京圏や名古屋圏で人口増加

都道府県別人口増減率

(推計人口 平成18年10月, 平成19年10月)



都心回帰で人口増加

人口の増減率（平成12年～17年）

【上位】

順位	市区名	平成12～17年の増減率(%)
1	東京都 中央区	35.7
2	大阪府 中央区	20.8
3	千葉県 浦安市	16.8
4	東京都 港区	16.6
5	東京都 千代田区	15.9

【下位】

順位	市区名	平成12～17年の増減率(%)
1	北海道 歌志内市	-12.1
1	北海道 夕張市	-12.1
3	北海道 三笠市	-12.0
4	高知県 室戸市	-10.2
5	北海道 芦別市	-10.1

注) 市区を対象

昼と夜で人口が大きく違う千代田区

昼夜間人口比率（平成17年）

上位

順位	市区町村名	昼夜間人口比率
1	東京都 千代田区	2047.3
2	大阪府 中央区	761.8
3	東京都 中央区	659.5
4	愛知県 中区	494.6
5	東京都 港区	489.4
6	大阪府 北区	430.4
7	大阪府 西区	273.3
8	東京都 渋谷区	272.4
9	東京都 新宿区	253.5
10	兵庫県 中央区	243.1

下位

順位	市区町村名	昼夜間人口比率
1	大阪府 豊能町	63.9
2	千葉県 栄町	65.0
3	宮城県 七ヶ浜町	65.3
4	茨城県 利根町	65.4
5	京都府 加茂町	67.6
6	千葉県 本埜町	67.6
7	奈良県 平群町	68.8
8	埼玉県 鷲宮町	69.2
9	青森県 階上町	70.0
10	神奈川県 宮前区	70.1

注1) 昼夜間人口比率: 常住人口100人当たりの昼間人口の割合

注2) 常住人口: 3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている人

注3) 昼間人口: 従業者又は通学者の仕事・通学している場所における人口

注4) 常住人口が5千人以上の市区町村を対象

東京都の中心部で昼夜間人口比率が高い

東京都特別区部の昼夜間人口比率（平成17年）

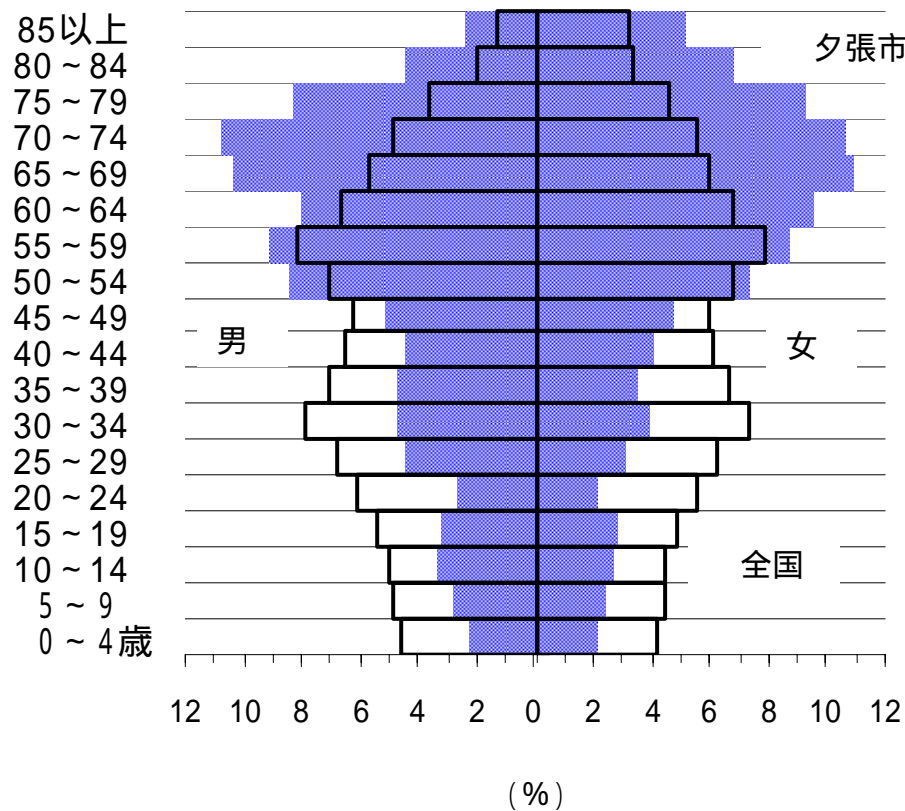


注) 昼夜間人口比率: 常住人口100人当たりの昼間人口の割合

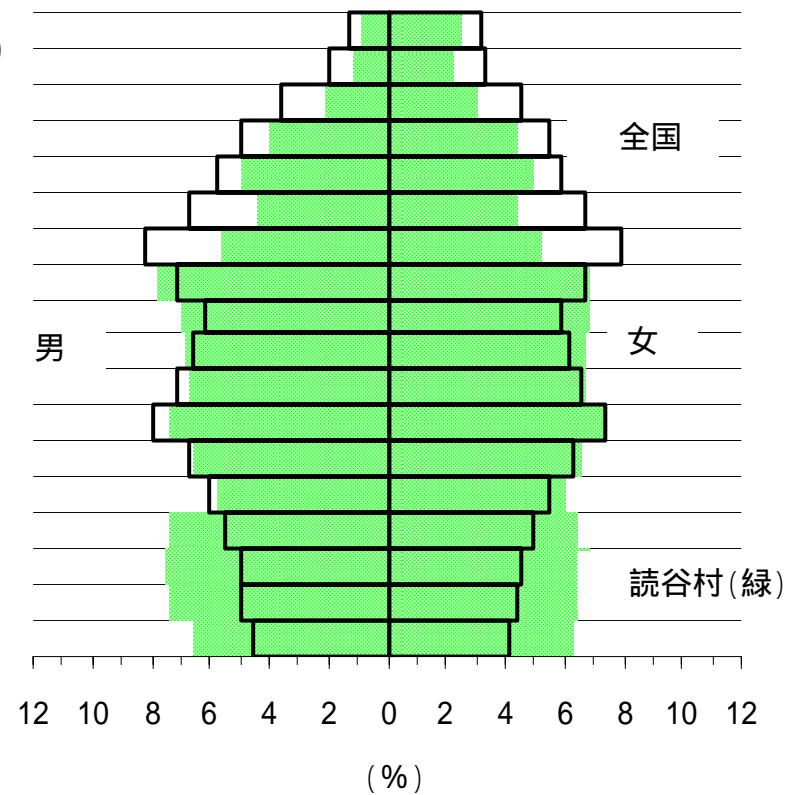
高齢者の多い夕張市 子供の多い読谷村

人口ピラミッド（平成17年）

北海道夕張市と全国

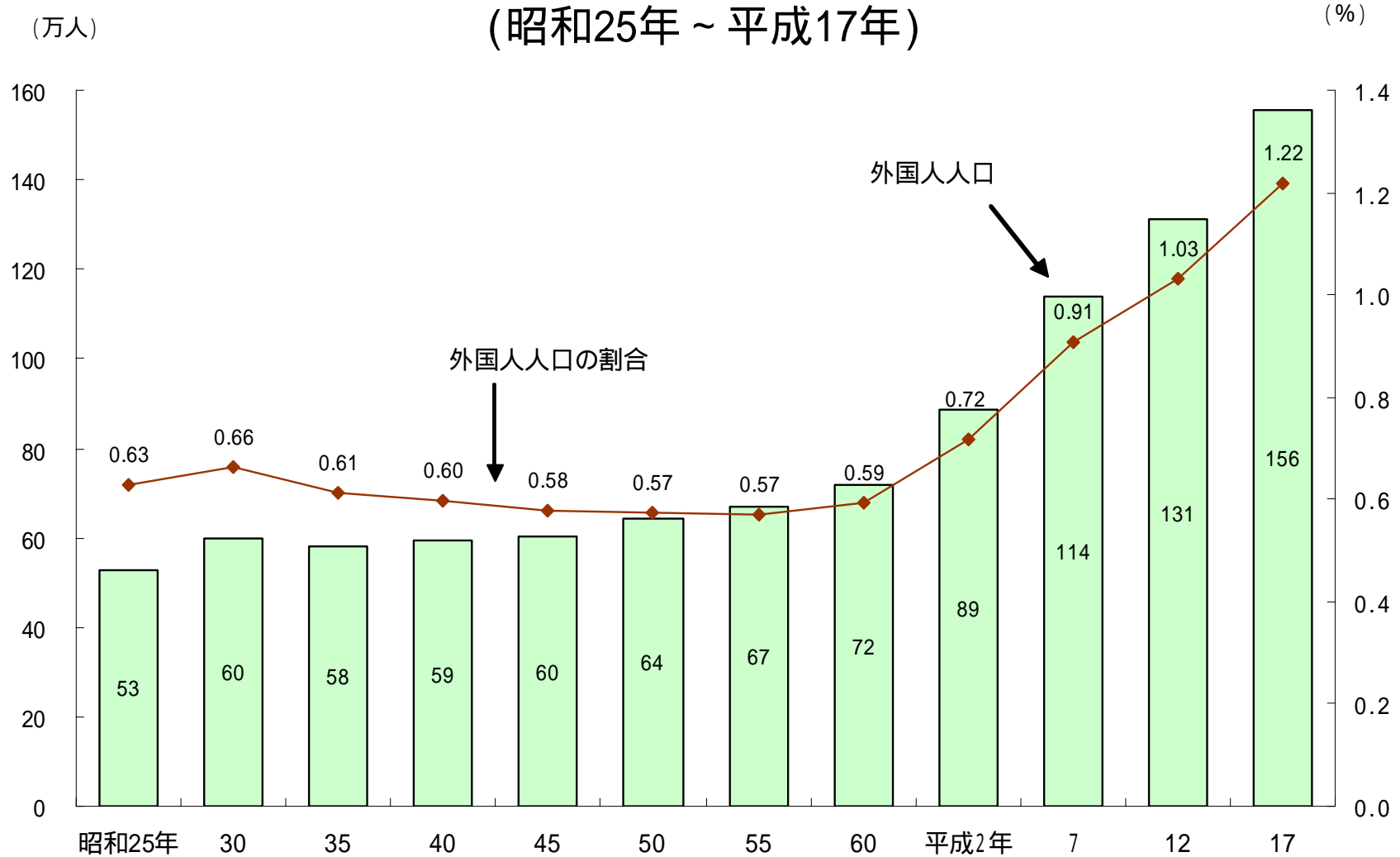


沖縄県読谷村と全国



日本に在住する外国人は増加

外国人人口及び外国人人口の割合の推移 (昭和25年～平成17年)



国籍で異なる常住地

外国人人口の割合（平成17年）

韓国、朝鮮

順位	市区町村名	人口に占める割合(%)
1	大阪府 生野区	19.8
2	大阪府 東成区	7.6
3	兵庫県 長田区	5.2
4	京都府 南区	4.9
5	大阪府 西成区	3.6

中国

順位	市区町村名	人口に占める割合(%)
1	茨城県 旭村	3.5
2	兵庫県 中央区	3.1
3	神奈川県 中区	2.8
4	兵庫県 福崎町	1.7
5	千葉県 美浜区	1.6

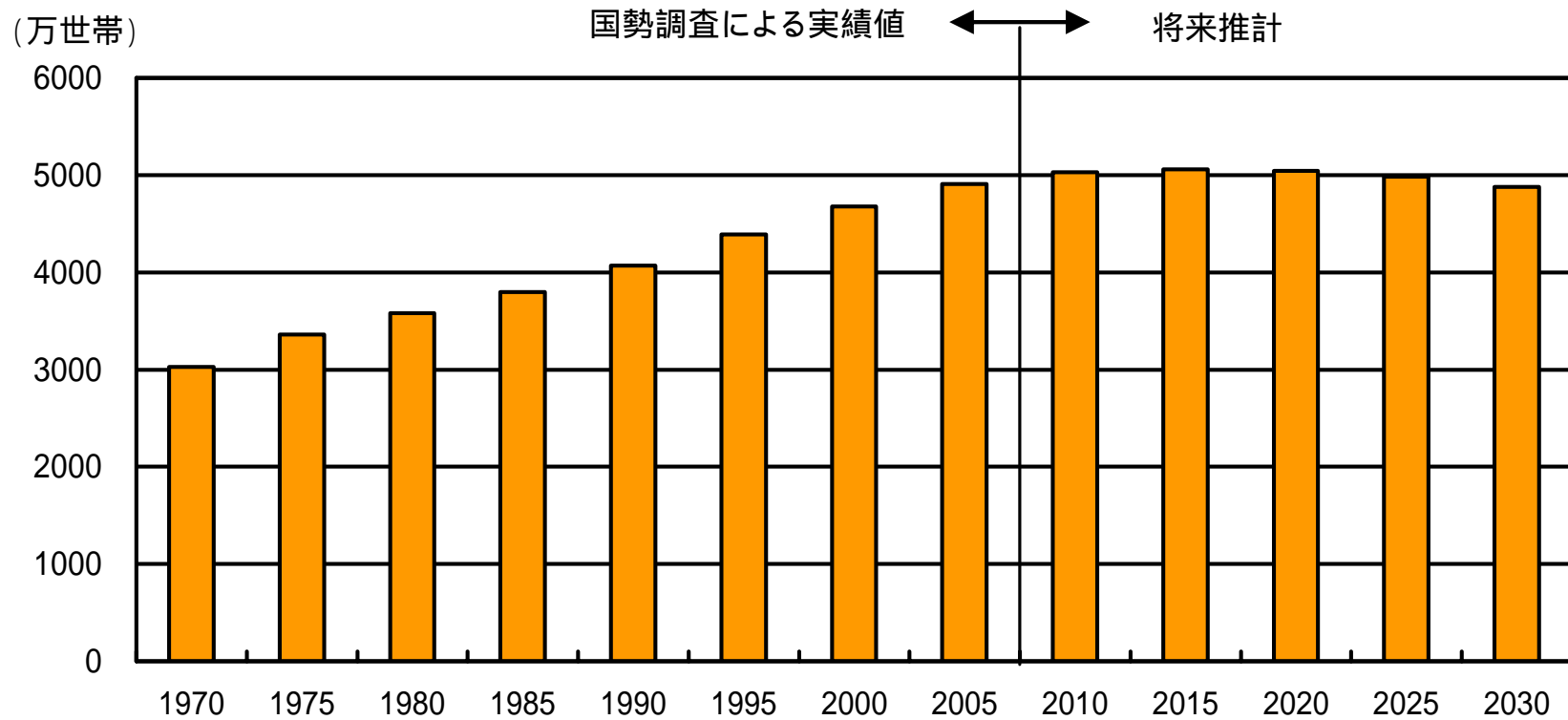
ブラジル

順位	市区町村名	人口に占める割合(%)
1	群馬県 大泉町	9.7
2	岐阜県 美濃加茂市	5.1
3	長野県 箕輪町	4.8
4	山梨県 田富町	4.6
4	静岡県 菊川市	4.6

注) 人口が1万人以上の市区町村を対象

世帯は2015年まで増加

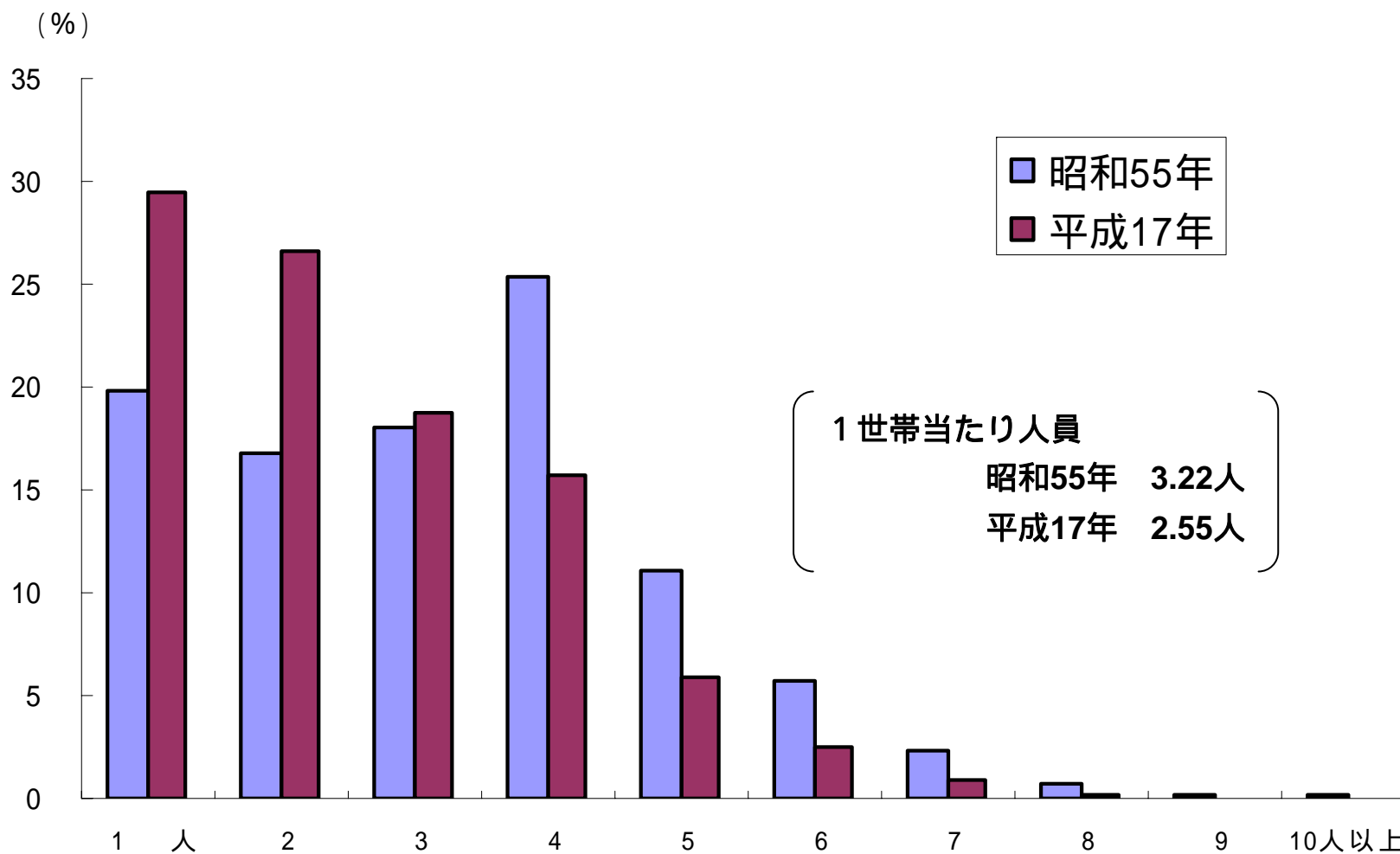
一般世帯数の推移（1970～2030）



注) 将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」による。

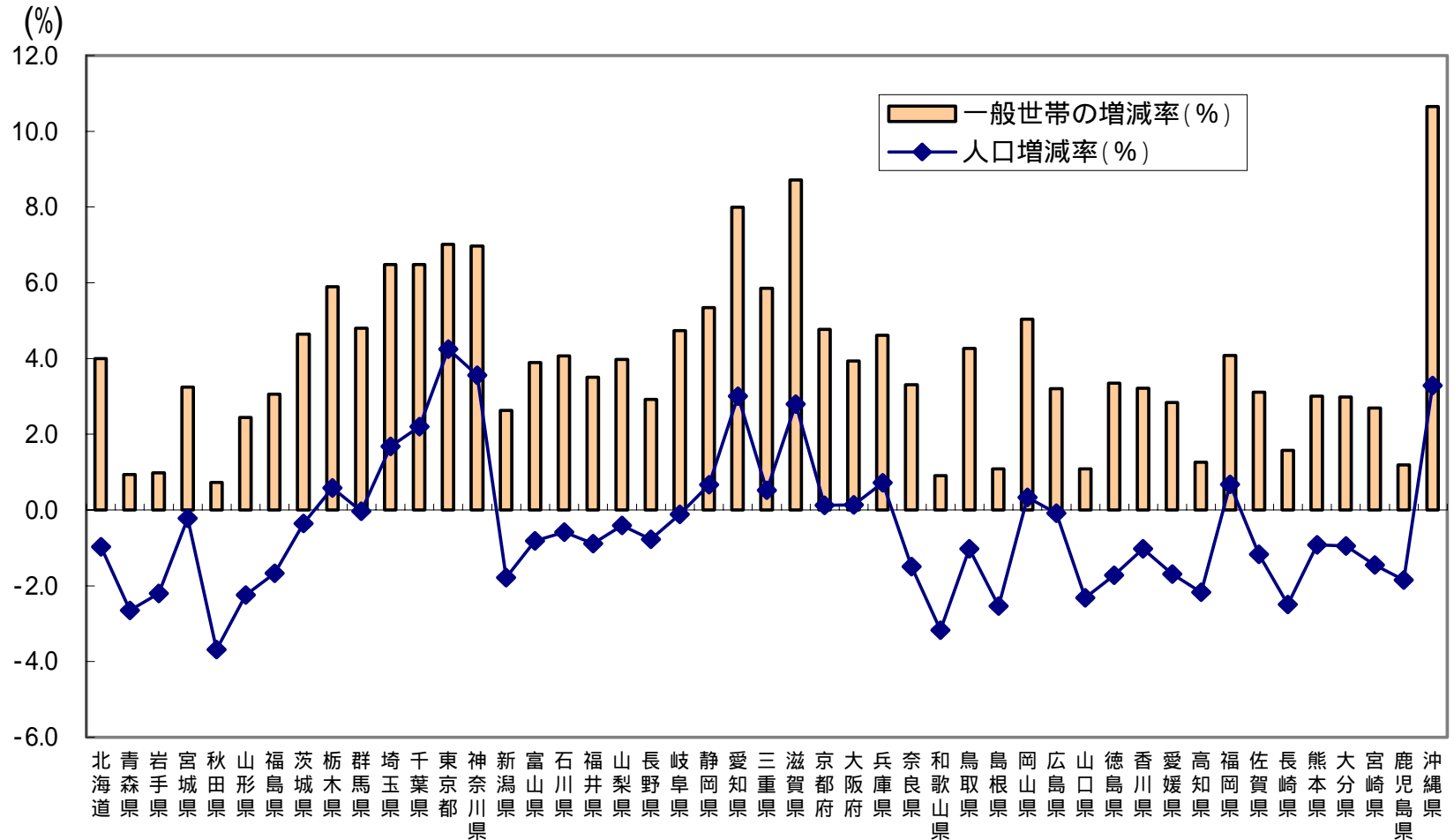
かつては4人家族 今は一人暮らし

一般世帯の世帯人員別割合（昭和55年，平成17年）



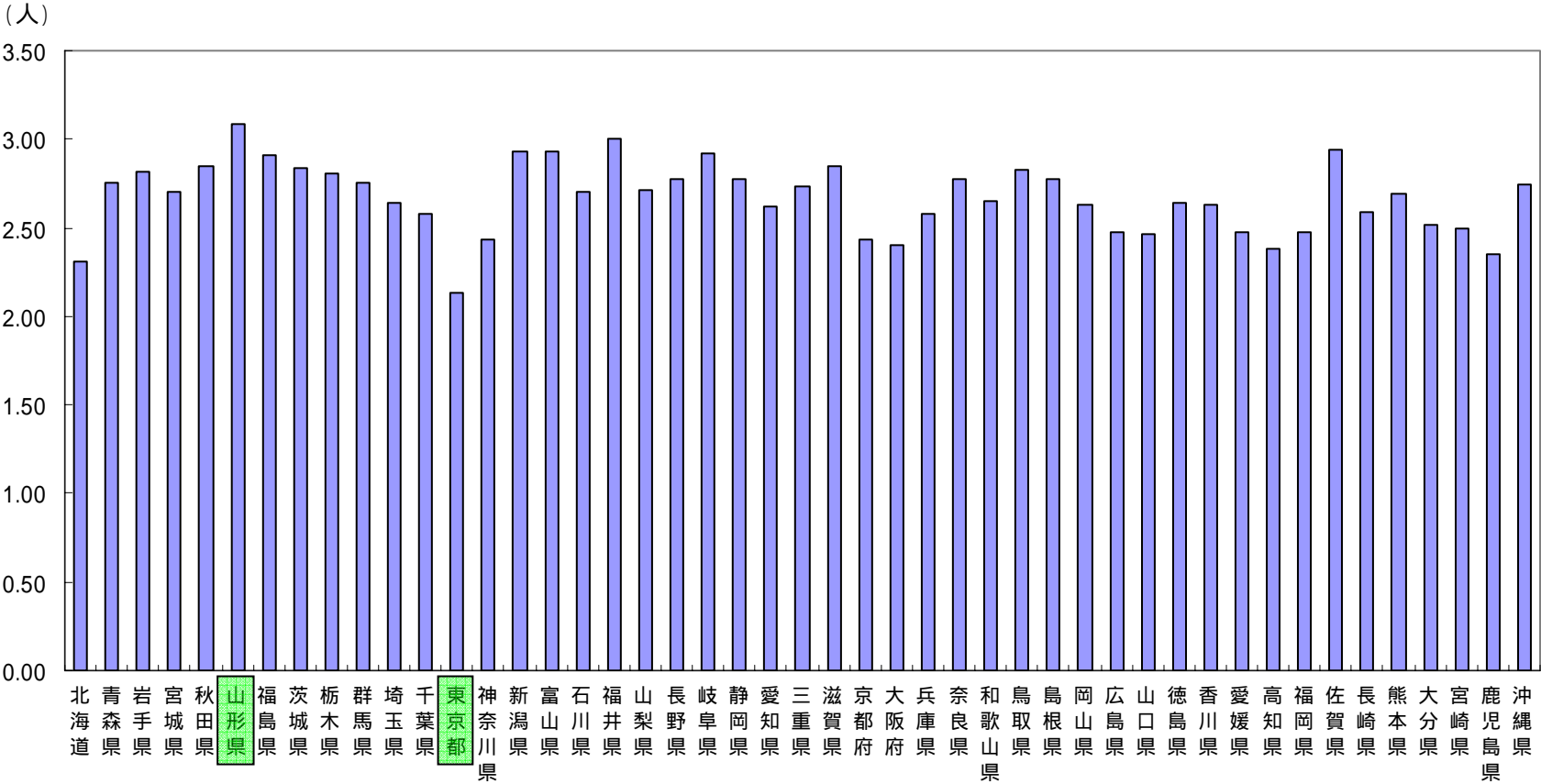
世帯は すべての県で増加

一般世帯及び人口の増減率（平成12年，平成17年）



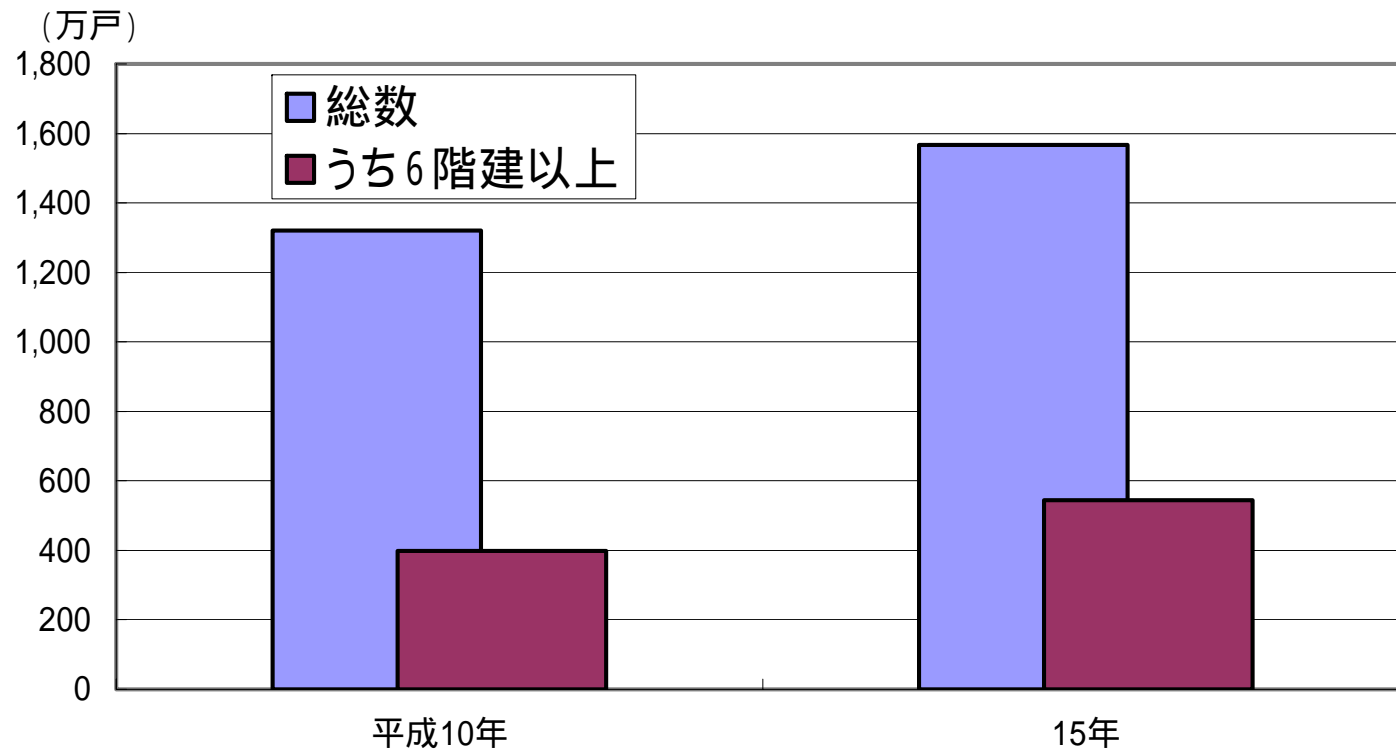
家族の人数の多い山形県 少ない東京都

1世帯当たり人員（平成17年）



共同住宅が増加

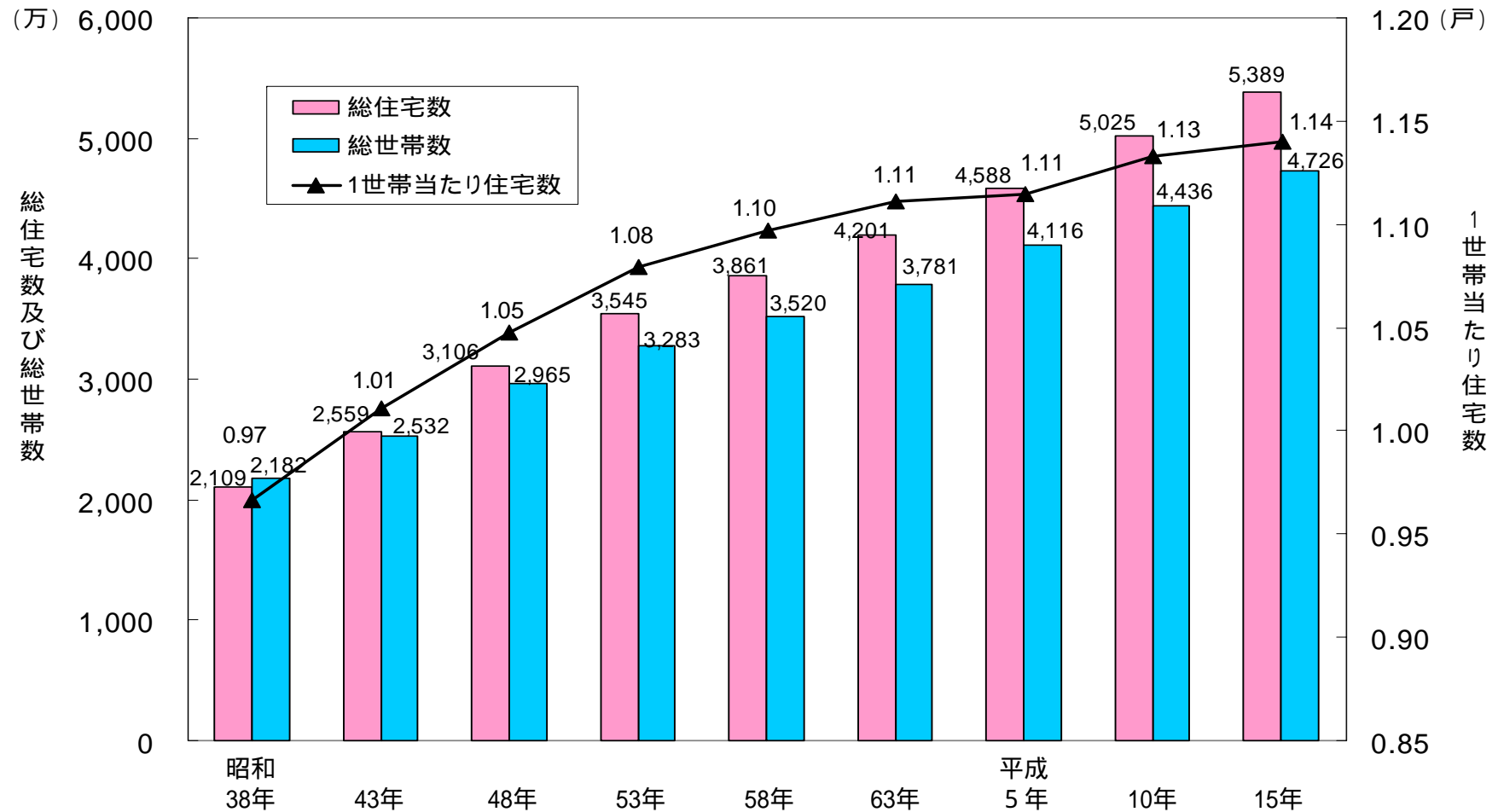
共同住宅数の推移（非木造）（平成10年，15年）



出典：住宅・土地統計調査

住宅数は世帯数より多い

総住宅数，総世帯数及び1世帯当たり住宅数の推移 (昭和38年～平成15年)

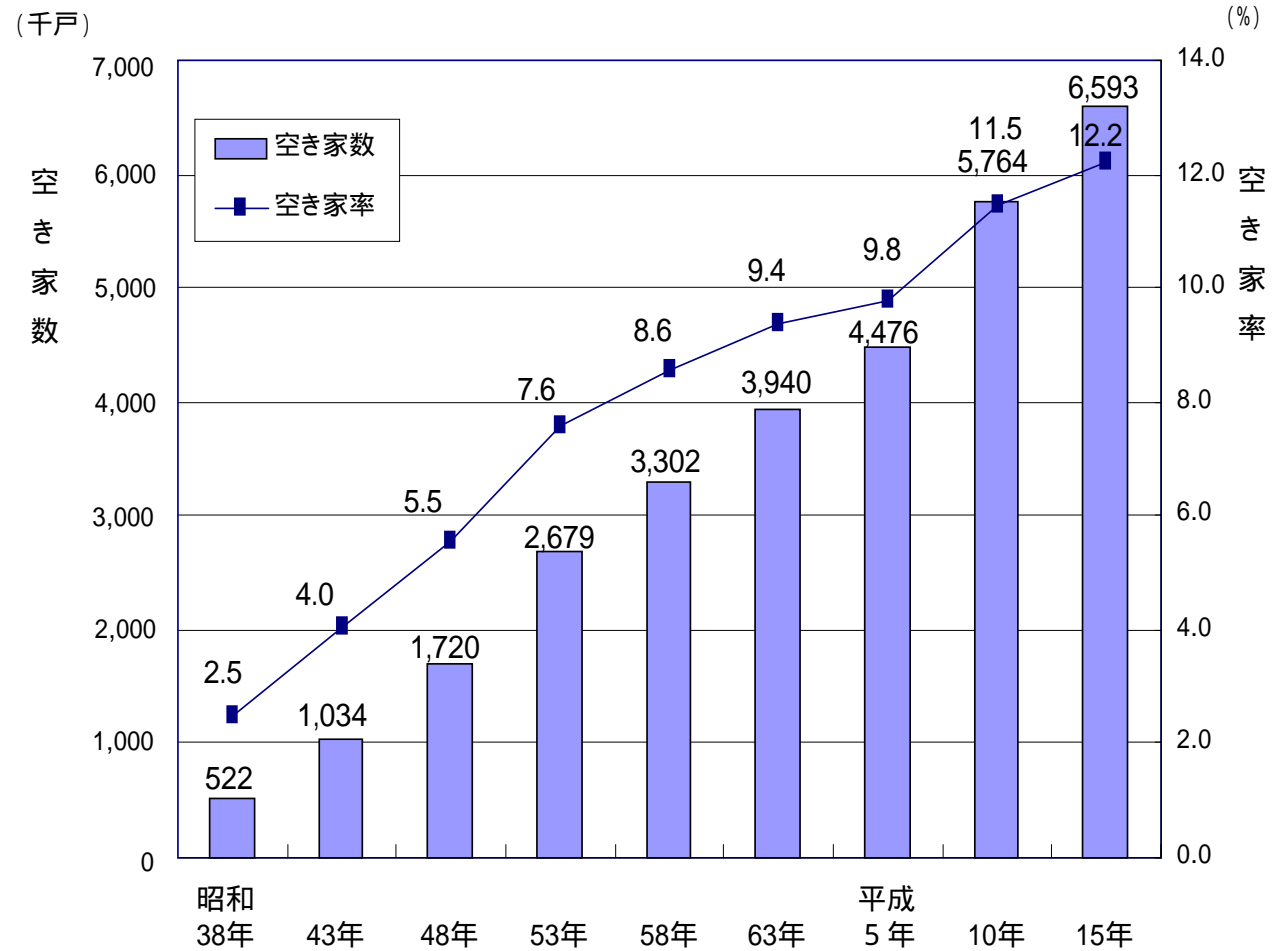


出典：住宅・土地統計調査

昭和38，43年には沖縄県を含まない。

空き家数は一貫して増加

空き家数及び空き家率の推移（昭和38年～平成15年）

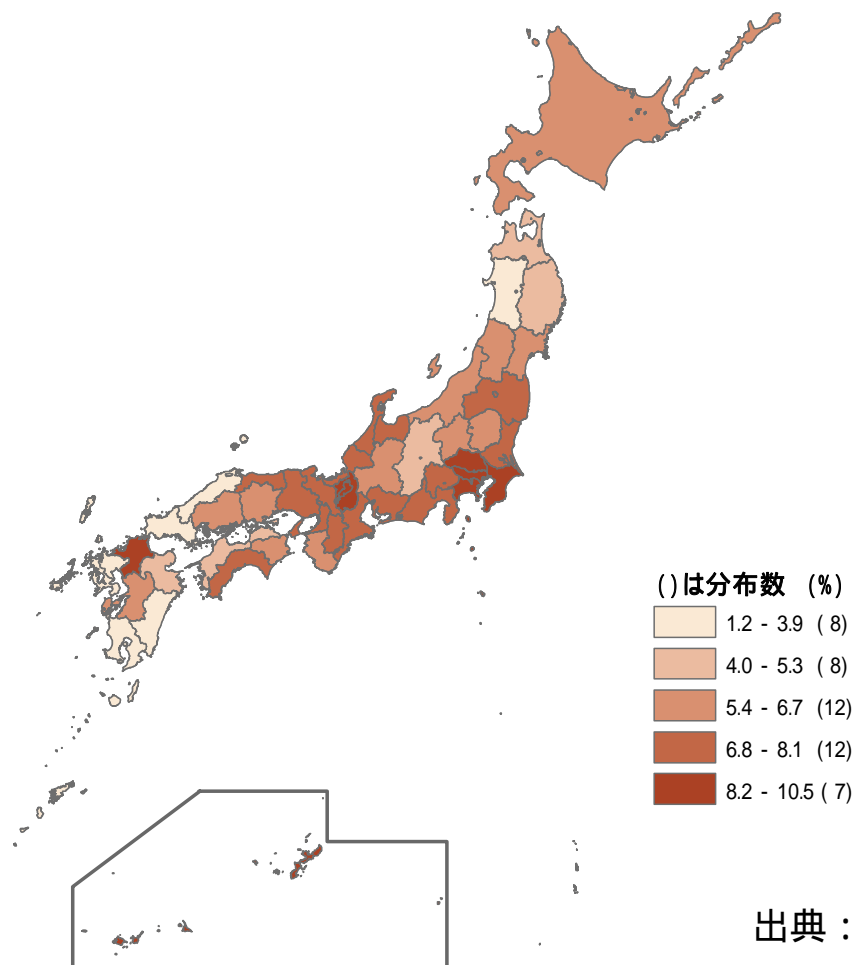


出典：住宅・土地統計調査

昭和38，43年には沖縄県を含まない。

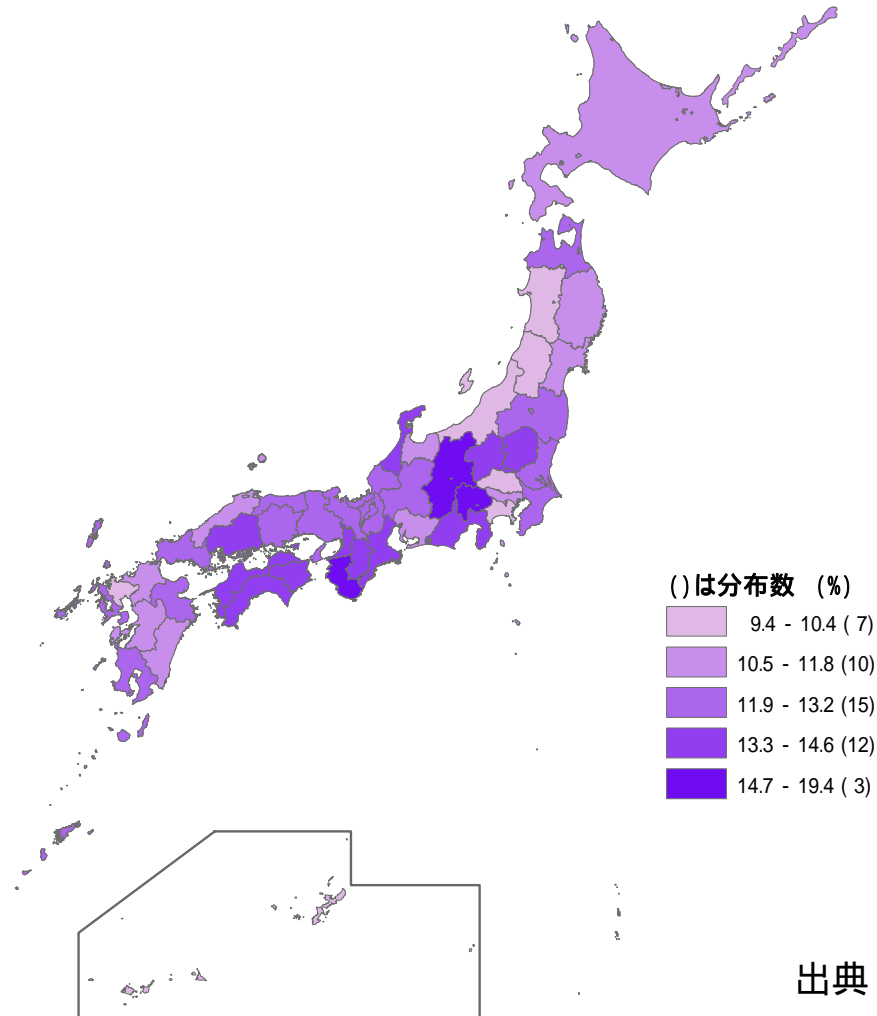
住宅数の増加率が高い沖縄県

総住宅数の増加率（平成10年～15年）



空き家率の高い山梨県

空き家率（平成15年）



出典：住宅・土地統計調査

2 政府統計の総合窓口(e-Stat)の利用

- 日本の政府統計関係情報のワンストップサービスを実現するための政府統計のポータルサイト
- 各府省等で実施している統計調査の各種情報を集約
- 統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報などを提供

e-Statのトップページ

政府統計の総合窓口 GL01010101 - Microsoft Internet Explorer

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do

e-Stat 政府統計の総合窓口

サイトマップ お問い合わせ ヘルプ

日本の統計が閲覧できる
政府統計ポータルサイト

本サイトに格納している統計データは各府省が登録したものです

各府省等からのお知らせ ユーザ登録 ログイン アンケート English

【政府統計の総合窓口(e-Stat)は、政府統計に関するワンストップサービスを行うため、平成20年4月1日から運用を開始しました。】

統計データを探す ?

キーワードで探す
統計分野で探す
作成機関名で探す

地図や図表で見える ?

- 図表で見る日本の主要指標
- 都道府県・市区町村のすがた
- 地図で見る統計(統計GIS)
- 統計年鑑等の統計書

調査項目を調べる ?

統計に用いる分類(産業、職業等)・用語
市区町村名・コード
調査項目を探す

統計制度を知る ?

- 日本の統計制度
- 統計委員会(平成19年10月～)
- 統計審議会(平成19年9月まで)

統計を学ぶ ?

- 統計学習サイト
- 統計関係書籍検索

統計サイト検索・リンク集 ?

- 各府省等の統計サイトから探す
- 統計関係リンク集

NEW 統計データ新着情報 一覧表示 公表予定 一覧表示

「都道府県・市区町村のすがた」 操作図 (イメージ)

e-Stat 政府統計の総合窓口

都道府県・市区町村のすがた

都道府県・市区町村のすがた

主要な統計データで全国のデータを提供します。
収録データ: **社会・人口統計**
・都道府県データ(基礎データ)
・市区町村データ(基礎データ)
市区町村データは、平成18年

地域統計概観 ▶

収録データの内、主要な項目により都道府県及び市区町村を絞り込みます。また、グラフ等により時系列データ比較や地域間データ比較が可能です。

地域別統計データベース ▶

都道府県、市区町村の各種主要統計データから地域、項目を絞り込み検索が可能です。

データ数値検索 ▶

収録データの内、最新年度のデータを対象に目的地域の目的項目について、トップ10の地域やデータ数値が指定範囲内に含まれる地域を絞り込み検索が可能です。

操作解説 ▶

機能の詳細はこちらをご覧ください。

※人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、居住環境、社会福祉、健康・医療、防災・安全、環境・エネルギー、統計データ収集・加工し、これを体系的に編成・整備したものを、基礎データ(基礎データ:65歳以上人口) 指標データ:老年人口割合(65歳以上人口割合)

e-Stat 政府統計の総合窓口

都道府県・市区町村のすがた > 地域統計概観

時系列データ比較

項目変更 地域統計概観へ戻る

北海道の時系列データ比較(グラフ・統計表)

<前の項目> 次の項目> グラフ表示変更 統計表表示

印刷 ダウンロード

北海道の人口総数(人)

調査年度

■ 15歳未満人口(人) ■ 15～64歳人口(人) □ 65歳以上人口(人)

<前の項目> 次の項目> **グラフ表示** 印刷 ダウンロード

調査年度	人口総数(人)	15歳未満人口(人)	15～64歳人口(人)	65歳以上人口(人)
1975	5,338,206	1,312,611	3,657,894	366,651
1976	5,395,300	1,309,000	3,699,000	386,000
1977	5,443,300	1,302,000	3,734,000	406,000
1978	5,490,300	1,293,000	3,769,000	425,000
1979	5,535,300	1,283,000	3,803,000	446,000
1980	5,575,389	1,298,324	3,823,808	451,727
1981	5,605,300	1,300,000	3,836,000	471,000
1982	5,630,300	1,281,000	3,864,000	488,000
1983	5,656,300	1,266,000	3,887,000	506,000
1984	5,672,300	1,247,000	3,907,000	523,000

「地図で見る統計（GIS）」 操作図（イメージ）

